

辺野古新基地建設反対

「辺野古埋め立て申請」は不許可に

安倍内閣は3月22日、沖縄県知事に対して辺野古新基地建設のための公有水面埋め立て承認申請をおこないません。この日沖縄防衛局は、北部土木事務所庶務班に書類を提出し2、3分で立ち去りました。

このような姑息なやり方で、「基地の県内移設反対」の沖縄県民の総意を踏みにじることは許されません。

日米両政府は、「普天間基地の移設」といいながら、普天間基地も2022年までは返還しないとしています。ジュゴンをはじめ希少海洋生物の絶滅につながります。私たちは、仲井真知事に埋め立てを許可しないよう求め、全国からの運動も強めています。



オスプレイ配備撤回 低空飛行訓練はやめよ！

昨年、10月に普天間基地に配備されたオスプレイは、沖縄県内の市街地および学校上空でヘリモード変換、低空飛行、夜間飛行、3トンのコンクリートブロックを吊り下げての訓練など「運用ルール」違反の危険な飛行を繰り返しおこない、県民の命と生活を脅かしています。

日米両政府は、3月から本土での訓練を始めており、今後、米軍が勝手に設定した全国7ルートなどを使って低空飛行訓練を行なおうとしています。

7月には、さらに12機のオスプレイを追加配備しようとしています。

「米軍輸送機オスプレイの配備撤回・低空飛行訓練中止」を求める署名を全国各地でとりくみましょう。ご協力をお願いします。



「主権回復の日」式典に抗議します

安倍内閣は、サンフランシスコ講和条約が発効した1952年4月28日を記念して、4月28日に「主権回復の日」の記念式典を開催します。

サンフランシスコ講和条約が発効した1952年4月28日は、沖縄、奄美などが日本から切り離されると同時に、安保条約が結ばれ、その後の

アメリカ言いなりの体制がつくられた日です。

「屈辱の日」であり、政治色の強い政府の式典開催に対して、都道府県の知事の半数が欠席・代理出席を表明しています。

私たちは、政府が「主権回復の日」の記念式典を中止するよう求めています。

安保破棄中央実行委員会 Eメール anpohaiki@nifty.com
TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765

2013年
4月